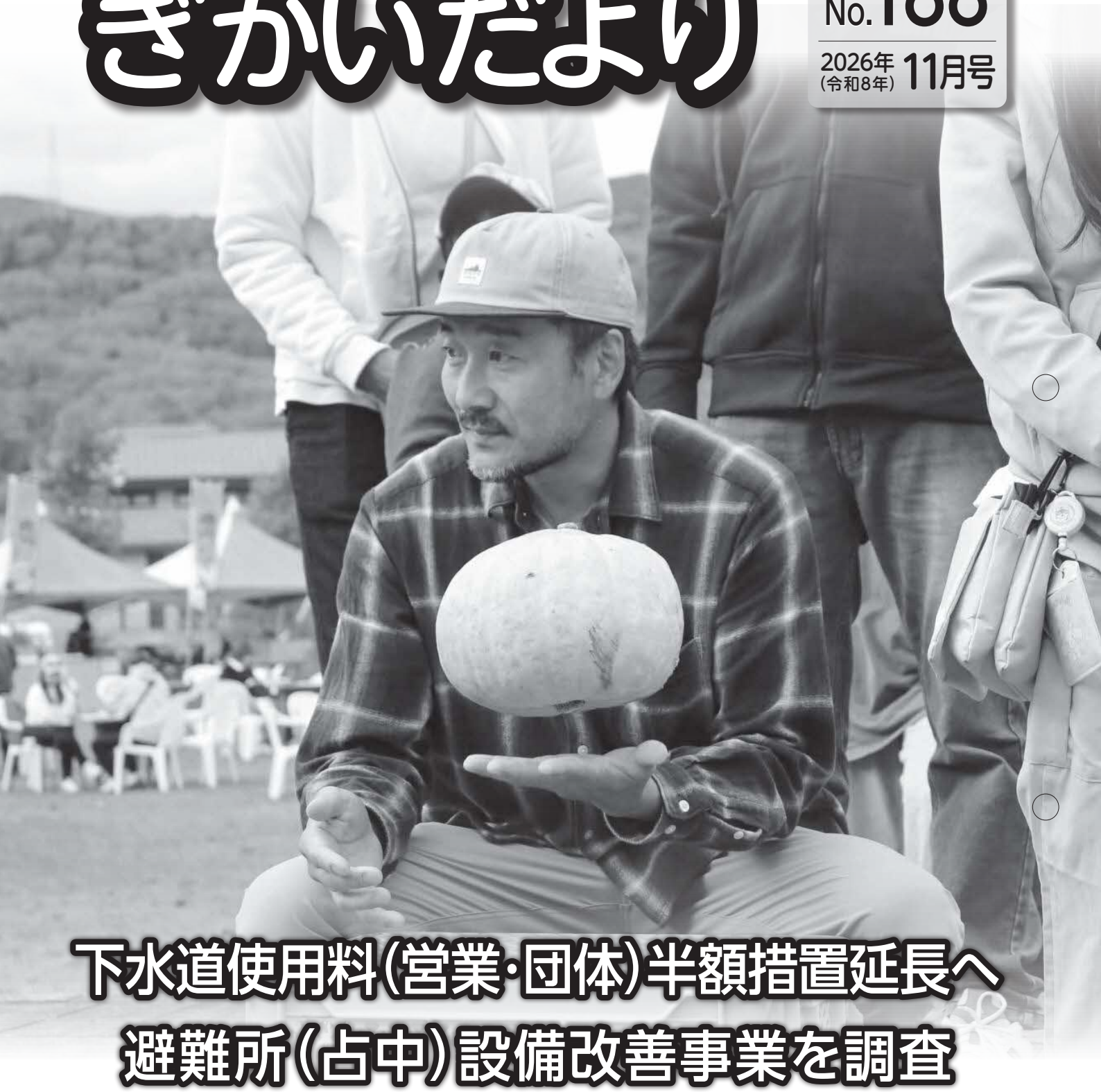
しむかっぷ ぎかいだより

No.188
2026年（令和8年）11月号



下水道使用料（営業・団体）半額措置延長へ
避難所（占中）設備改善事業を調査

今月の表紙 『第46回占冠村紅葉まつり』

10月4日（日）に開催された「紅葉まつり」で野菜の重さ当てゲームの様子を写した1枚です。

議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。

- 第4回定例会 …… p 2
- 村長行政報告 …… p 4
- 村内所管事務調査 …… p 5
- 議員派遣 …… p 6
- 広域連合議会定例会報告 …… p 7
- 一般質問　4議員 …… p 8
- 議員の主なうごき …… p12

定例会

団体）半額措置延長へ
備改善事業を調査

令和8年　第4回定例会

- 会　期　9月16日から17日まで（2日間）
- 一般質問　4議員
- 審　議　健全化判断比率などの報告、条例、補正予算、人事案件など計17件をすべて原案どおり可決
- 傍　聴　16日：4人　17日：1人

条例の一部改正

▼占冠村子育て支援医療給付に関する条例の一部改正

北海道の給付基準に合わせ、受給資格者から「小規模住居型児童養育事業を行う者」に委託された児童を除外するものです。

▼占冠村重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

前記の改正に加え、18歳以上20歳未満の子が属するひとり親家庭の世帯に付されている所得税非課税要件を撤廃するものです。

▼占冠村監査委員条例等の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、「占冠村監査委員条例」ほか2条例について、引用している箇所の改正を行うものです。

問　木村議員

今回の条例改正は、地方自治法の改正に伴う条文のずれを修正するものとのことですが、村条例が古いままになっていた理由や経緯について伺います。



三浦総務課長

令和5年度の法改正に伴う関係条例の改正が抜けていたことにより、村条例に条文のずれが生じていました。

再問　木村議員

法改正が頻繁に行われる中で、改正漏れを防ぐための対応策について、どのように取り組んでいるのか伺います。

三浦課長

上川南部地区の法制担当部会において、各市町村で改正条例を持ち寄り検討する取組を行っています。また、上川地域連携共創推進会議で、条例改正実務を研究課題とし、上川管内で情報共有する仕組みを構築する予定です。

▼占冠村公共下水道条例の一部改正

本年12月をもって中央処理区の営業用・団体用使用料半額措置が終了するため、引き続き5年間半額措置を延長するものです。

問　下川議員

今回で7回目の延長です。令和6年度に公営企業会計に移行していますが、この制度は今後も継続する方針ですか。



岡崎建設課長

今回の延長は物価高騰や地域事業者の経営状況を考慮した結果です。急激な料金負担増加が経営困難を招く可能性があるため、現時点では半額措置の廃止は適切ではないと判断しました。今後、経費回収率の向上や経費縮減策を検討する考えです。

再問　下川議員

半額措置を長年継続していることを知らない利用者もいる可能性があります。将来的な措置の終了を見据え、制度の周知が必要ではありませんか。

岡崎課長

これまで特に周知は行って

一口メモ　下水道使用料の半額措置

本村の下水道使用料のうち営業用は2,420円、団体用は3,000円（いずれも20㎥まで）であり、超過分はいずれも1㎥当たり140円となっています。また、営業用・団体用については使用料を半額とする措置が設けられており、その期間は中央処理区が今回の改正により令和13年12月まで、トマム処理区が令和9年7月までとされています。

下水道使用料（営業・
避難所（占中）設

おりませんが、制度を正しく認識してもらうため、今回の条例改正後に、広報や事業者への案内を通じて、半額措置の内容や期限を明確に伝えるよう検討します。

令和8年度 補正予算

※主な内容は別表のとおり

【一般会計　第2号補正】

問 木村議員

小規模事業奨励金30万円について、新規開業者向けの支援金なのか、事業継続奨励金なのか。また、商品券20万円の予算措置についても伺います。

平岡企画商工課長

この30万円は定住促進条例に基づく転入者の新規開業支援金であり、事業継続奨励金ではありません。商品券20万円については、定住促進事業報償費として別途予算計上しています。

問 木村議員

障害者医療費負担金返還金と障害者自立支援給付費負担金返還金について、国庫負担金と道負担金の使途の違いを伺います。

石坂福祉子育て支援課長

障害者医療費は更正医療・育成医療に係る費用、障害者自立支援給付費は施設入所者やサービス利用者に係る給付費です。これらの費用について、国2分の1、道・村それぞれ4分の1を負担しており、利用実績に基づき国・道負担金を返還するものです。

問 小尾議員

粗大ごみ処理費130万円について、無料収集の有料化検討状況、破砕処理による効果について伺います。



岡崎課長

年3回、粗大ごみを無料収集していますが、処理量が年々増えており、今後において有料化の検討は必要と認識しています。また、粗大ごみの破砕処理を行うことで容量が圧縮され、最終処分場埋立地の容量が確保されます。

問 小尾議員

アライグマ捕獲奨励金6万円が増額計上されているが、現時点での捕獲状況と今後の見込みを伺います。

両瀬林業振興室長

7月末時点で21頭を捕獲しており、過去の実績から最終的には45頭の捕獲を見込んでいます。そのため、今回20頭分の奨励金を増額計上しました。

問 木村議員

占冠村産イタヤカエデを使用したボールペン制作事業79万2,000円の内容と、



占冠村産イタヤカエデを使用したボールペン

令和8年度 補正予算

一般会計（第2号）　2,860万円増

総額 32億5,930万円→32億8,790万円

- 富良野広域連合負担金 …… 143万円増
- 粗大ごみ収集運搬・破砕処理業務 … 130万円増
- 占冠村産イタヤカエデを使用したボールペン作成委託業務 …… 79万2,000円増
- ドローン購入 …… 246万円増
- 村道修繕 …… 340万円増
- 村営住宅等修繕 …… 715万円増
- 土地購入費 …… 105万1,000円増など

介護保険（第1号）　1,090万円増

総額 1億1,630万円→1億2,720万円

- 介護保険システム改修 …… 170万円増
- 介護給付費等返還金 …… 920万円増

簡易水道（第2号）　270万1,000円増

収益的支出総額
1億3,426円→1億3,696万1,000円

- 占冠浄水場ほか修繕 …… 218万9,000円増など

簡易水道については歳入と歳出の総額が異なるため、歳出総額を記載しています。

販売価格、収支の見込みについて伺います。

両瀬室長

鹿柵設置時に支障となったイタヤカエデを有効活用するため、グリップ部分に加工・使用したボールペン３００本を制作します。販売価格は税込み３，８５０円を予定しており、制作費84万円（製材費５万円＋制作費79万円）に対し、販売収入は１１５万円となり、約31万円の収益を見込んでいます。

問　木村議員

ドローン購入費２４６万円について、用途、購入機種の内容、維持費や保険料などの見込みを伺います。

両瀬室長

野生鳥獣の生息調査等に使用している既存のドローンが、導入から11年が経過し、サポート体制も既に終了しています。今回、鳥獣の監視や追い払いも可能な機種として、赤外線サーマルカメラやスピーカーを搭載した産業用モデルを購入予定です。バッテリーなどの備品は購入費に含まれており、保険料は年額５，０００円程度が見込まれます。

人事案件

▼人権擁護委員候補者の推薦

字中央　藤田　まき氏（再）

▼固定資産評価審査委員会委員の選任同意

字中央　山西　一幸氏（新）

決算特別委員会を設置

令和７年度占冠村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算、令和７年度占冠村公営企業会計決算について、議長と議会選出監査委員を除く６名で構成する決算特別委員会（委員長　小林潤議員）を設置し、閉会中の継続審査とすることに決定しました。



村長の行政報告

道道夕張新得線通行止めについて

道道夕張新得線は、赤岩トンネル手前で発生した路面亀裂が７月中旬の降雨で進行し、安全確保が困難となったため、北海道の判断により、８月５日から通行止めとなっています。対象区間は青巌橋から赤岩青巌峡までであり、バリケード及び看板の設置による対応となっております。



路面亀裂が進行した道道夕張新得線

今後、復旧に向けて北海道による観測等の調査が行われますが、これには６か月以上を要する見込みで、その結果を踏まえて工事が行われる方針です。

ニニウ地区へは日高町経由での迂回が可能ですが、この通行止めにより、ニニウ地区住民の生活や観光客の往来に大きな影響を及ぼしています。

なお、緊急車両については道東自動車道の緊急開口部を利用してアクセスすることが可能であり、緊急時の対応は確保されています。

生活を支える重要な路線であることから、村としては、北海道に対し一日も早い復旧を強く要望するとともに、今後も迂回路の安全確保や除雪対策について、関係機関と協議を進めてまいります。

占冠村と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部との包括的連携に関する協定書の締結について

この度、札幌国際大学及び札幌国際大学短期大学部と、地域課題の解決に連携して取り組むため、「包括的連携に関する協定書」を８月20日に締結いたしました。

本村は全国的に見ても外国人住民比

率が高く、外国人住民との共生は地域づくりにおける重要なテーマです。このような中、札幌国際大学が令和6年度に「占冠村における外国人労働者の現状と地域住民」をテーマに、村内で実態調査を行い、外国人労働者が地域を支える重要な存在である一方、生活支援などの課題も明らかになりました。

当面の取組として、まず北海道内の自治体や保育所を対象に「外国にルーツのある子どもの保育状況」を共同で調査し、本村もこれに協力します。大学から調査結果の提供を受け、村の実情に即した課題解決に繋げます。また、村内をフィールドとした学生の学習・研究活動も積極的に進めてまいります。

本協定に基づき、大学の専門的な知見をお借りしながら、外国人住民との共生を地域発展に繋げる政策を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



協定書を手にする田中村長と札幌国際大学蔵満学長（右から2人目）

村内所管事務調査

6月29日に実施し、9月16日の議会定例会で小林総務産業常任委員長から報告されました。

①避難所（占冠中学校）設備改善事業実施状況等調査

占冠中学校は村における最大の避難所でもあることから、以前よりトイレ改修を中心とした整備が求められており、今回の工事では屋内トイレの改修をはじめ、屋外排水設備の改修及び玄関スロープの新設等が行われた。


占冠中学校1Fトイレ改修

トイレについては改修により衛生環境が格段に向上し、車椅子利用者やオストメイト利用者への対応スペースも整備されるなど、生徒の学習環境の改善のみならず避難所としての機能向上が図られた。また、屋外排水の不具合も解消されるなど、大きな成果があったと認められる。

なお、調査の過程で1階女子トイレのヒーター付近からの水漏れが確認されたため、早急な原因究明と適切な修繕の実施を求めるものである。

②字占冠教員住宅及び周辺環境等調査

令和7年度より空家となっている旧占冠小校長住宅（1棟1戸）については、本年4月に教育財産から村普通財産への所管替が行われており、年内には村民への貸付が予定されている。一方、同じく空家となっている旧占冠小教員住宅（1棟4戸）については、将来的な教職員数の増加を見据え、教育財産として引き続き管理を継続するとの説明であった。


旧占冠小教員住宅

教員住宅は将来的な教員増員に備えた重要な施設であるが、適正な管理がなされなければ建物の損傷が進み、後年度において多額の費用を要することとなる。住宅本体の日常的な維持管理と周辺環境整備を一体的に推進するよう求めるものである。

③メープル工房整備事業実施状況等調査

本事業は、村の特産品として定着したメープルシロップ製造の機能強化はもとより、新商品開発や


製造拠点として期待されるメープル工房

新たな観光交流の拠点として、令和6年度から7年度にかけて整備されたものであり、エア・ウォーターからの寄附金も充当されるなど、村内外から大きな期待が寄せられている。

現地調査の結果、建築工事及び各種機械器具・備品等の整備については、計画どおり施工されていることを確認したが、一部物品の保管状態に改善を要する箇所が見受けられたことから、所要の措置を講じられたい。

施設使用者の研究・開発への熱意や意欲は高く評価する。同業他社が各地で立ち上がる中において、占冠産メープルシロップの優位性・独自性を明確にした営業戦略の構築及び持続可能な経営基盤の確立に向け、村には引き続き側面的支援に努められるよう望むものである。

④村道橋梁補修事業実施状況等調査

インフラ長寿命化対策の一環として、「林友橋（ホロカトマム）」「占川橋（占冠）」「東5線橋（中央）」「11号橋（占冠）」の4橋の橋梁補修工事が進められている。

林友橋は既に事業を完了したが、他の3橋については、令和8年度から令和10年度での完成が予定されている。


占川橋現地確認

このうち、占川橋を抽出して現地調査を行ったところ、概ね計画どおり施工されたものと認められる。なお、ガードレール全体が錆で覆われている状況が見受けられたことから、今後における防錆・塗装の実施について検討されたい。

議員派遣

全道町村議会広報研修会

8月18日（札幌市）

報告者：藤岡　幸次　議員

札幌市で全道町村議会広報研修会が開催され、広報委員や事務局職員など総勢約500名が参加しました。本村からも3名の委員が出席し、議会広報の意義や編集技術について学びました。

午前中は、議会広報サポーターの芳野政明氏による講演「議会の見える化＆住民との信頼関係～議会広報の基本と編集～」を拝聴しました。議会広報は単なる活動報告に留まらず、審議過程や背景を住民に伝えることで、議会を身近に感じてもらい、住民との信頼関係を築く重要な役割を担っていることを学びました。また、住民の意見を広く聴き、それを広報に反映させることで、地域課題の共有や住民参加を促進する双方向性のある広報活動が求められると述べられました。特に「読みやすい」「伝わる」「つながる」広報紙づくりの重要性が強調され、議会とは本質的にメディア的機関であるとの認識を新たにしました。



午後の研修では、5町の議会広報紙を対象とした広報クリニック（紙面診断）が行われ、視覚的な工夫や内容構成について具体的なアドバイスをいただきました。本村議会でも2年前に紙面を一新し、レイアウトや写真、イラストの活用など工夫を重ねておりますが、今回の研修を通じてさらなる改善の余地があることを感じました。

今回得られた知見を活かし、今後も住民に親しまれる広報紙づくりを目指してまいります。



令和７年度 占冠村健全化判断比率

下表のとおり監査委員の審査を経て議会に報告されました。この比率は、全国共通の「モノサシ」で各自治体財政の健全度を測るものであり、占冠村においては全項目で基準を下回っていることから、財政は適正であると判断されます。

なお、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計についても資金不足はありませんでした。

区　分	村の比率 【令和６年度】	早期健全化基準
実質赤字比率	**黒　字** 【黒 字】	15.0%
連結実質赤字比率	**黒　字** 【黒 字】	20.0%
実質公債費比率	**7.5%** 【7.2%】	25.0%
将来負担比率	**42.4%** 【38.3%】	350.0%



意見書を提出

村民の声を国政・道政の場に

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

○物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める意見書

○軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

○備蓄米水準の早期回復を求め、生食用ジャガイモの輸入解禁を行わないことを求める意見書

令和８年　第２回富良野広域連合議会定例会報告

令和８年第２回富良野広域連合議会定例会が 10 月８日（木）に開催され、広域連合長から提出された議案５件（補正予算１件、条例改正１件、人事案１件、認定１件、報告１件）が原案のとおり可決・認定されました。

可決・認定された案件は次のとおりです。

補正予算

●令和８年度富良野広域連合一般会計補正予算（第３号）
歳入歳出それぞれ 31 万 1,000 円を追加
総額　25 億 6,576 万 8,000 円➡
25 億 6,607 万 9,000 円

条例改正

●富良野広域連合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

人事案

●富良野広域連合監査委員の選任について

認定

●令和7年度富良野広域連合一般会計歳入歳出決算認定

報告

●専決処分報告（令和８年度富良野広域連合一般会計補正予算（第２号））

その他会議に付した案件

●監査委員報告：例月出納検査結果報告
●令和７年度富良野広域連合教育行政評価報告

※富良野広域連合は、富良野地方5市町村で組織され、消防、串内牧場、環境衛生センター、学校給食センター等の事務を効率的に行うための特別地方公共団体です。

▸村職員の新規採用の課題

▸ガバメントハンター（野生鳥獣専門員）の正職員化



小尾（おび）　雅彦（まさひこ）　議員

1　村職員の新規採用の課題

問　道内では約3割の58市町村で保健師が不足しています。村の保健師新規採用の動向と、ここ3年程欠員補充できていない要因は何か伺います。

田中村長

上川管内の町村と合同で実施する採用試験を基本とし、国保連合会、ハローワーク、看護協会等を活用した募集活動を行っています。令和6年度に保健師1名を採用しましたが、残念ながら年度中に退職しました。

また、民間の転職サイトの活用も始めました。保健師の応募が少ない最も大きな要因は、絶対数が少ないことです。その他地理的条件や生活環境、採用情報等を対象者に十分届けることができていないなど、複数の要因があると考えております。

問　現在の保健師は勤務経験も長く、ベテラン職員ですが、通常業務に支障が出ていないか危惧されます。従前まで実施していた賃金引上げや運転免許証の取得など一般職との優遇措置が要されますが、考えを伺います。

田中村長

村では従来から保健師の月例給について、一定の優遇措置を行っており、今後も継続していきたいと考えております。

問　基幹産業である林業の技術者新規採用についても大変苦慮されていますが、現状での考えを伺います。

田中村長

村の基幹産業である林業を維持、発展させていくうえで、専門的な知識や技術を有する人材確保は重要であると認識しており、専門人材確保は容易でないため、林業振興室から農業高校への働きかけなど、取組を進めております。

2　ガバメントハンター（野生鳥獣専門員）の正職員化

問　専門性の高い職種のガバメントハンターは道内でも4市町村のみの配置であります。現在までの正職員化に向けた検討状況を伺います。

田中村長

正職員化については、担当課が野生鳥獣専門員との面談を行っており、継続課題としています。職責は非常に重要であり、処遇改善として、職責に合った職務級への改善を行っております。

問　今後において継続的に優秀な職員に村内での業務遂行のため、他市町村に引き抜かれない措置が要されますが、考えを伺います。

田中村長

本人と色々と協議をしておりますが、ご本人の意向としては、定数内職員になるよりも、不安定であっても村民に必要とされる野生鳥獣専門員を目標としているということで、そういった思いもある中で、将来不安をどう解消していくか、退職金の問題など、生活内での不安をどのように改善していくのかということも今後のテーマだと思っています。



デントコーン畑で捕獲されたヒグマ



細谷（ほそや）　誠（まこと）　議員

▸占冠村におけるDXの取組と進捗状況、課題は

▸防災、減災対策は大丈夫か

1　占冠村におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取組と進捗状況、課題は



問　総務省はDX推進計画において、8項目からなる重点事項を示しています、本村における現状の取組内容と進捗状況を伺います。

田中村長　総務省の重点取組事項を踏まえ、業務の効率化、住民、事業者の利便性向上と情報システムの標準化を進め、AI利用促進では、ガイドラインを整備し業務へ活用しています。業務の効率化についてはDX推進アドバイザーを中心に検討しているところです。

問　DXの推進にあたっては、様々な課題があると推測しますが、課題をどのように認識し、対応し解決を図るのか伺います。

田中村長　DX化は非常に重要である一方、導入コストや経費の増大、専門人材、職員の意識やスキル不足など様々な課題があると認識しています。経費増大による、財政の圧迫や職員の事務負担を回避するためにも既存事業の総合的な見直し改善が必要と考え、今後の推進体制を村長が本部長となり占冠村DX推進本部を設置し全庁横断的に財政負担にも配慮しながら着実にDX化を推進していきます。

2　防災、減災対策は大丈夫か

問　8月29日に占冠村防災訓練において、防災業務無線による避難指示の音声放送が実施されましたが音声到達に課題があると考えます。防災行政無線の効果検証・改善を含め、防災・減災全般に対する認識と今後の方針を伺います。

田中村長　初めて防災行政無線による避難指示の音声放送を実施しましたが、密閉性の高い寒冷地住宅の特性なども相まって聞き取りにくいことも多いと考えます。防災無線の特性、限界を踏まえ情報伝達の多重化（広報車、メール配信、SNS、電話）により確実に情報が届く体制の確保に努め、各家庭での防災準備や、地域コミュニティの連携など自助・共助・公助を三位一体で推進し防災対策の確立に取り組んでいきます。

問　今回の防災訓練及び近年の防災対策を通じ課題が明らかになったと考えますが、今後の改善・対応策を伺います。



占冠地区の指定避難所「占冠地域交流館」



サイレン塔

田中村長　災害の初期では最低限の人員、各種団体の協力を得ながら対応し、要支援者、高齢者の方については、リスト化し避難体制整備に努め、外国人への支援はリゾートとの防災対策についての協議や地域コミュニティの支援も期待できると考えています。避難所の生活環境改善、プライバシーの保護配慮を進め個人の尊厳が守られる空間づくりに努めます。道路、橋梁、上下水道、河川などのインフラは計画的に維持管理、修繕に取り組んでいますが、被害が繰り返される箇所については抜本的な強靭化が再発防止に有効であると認識し優先度を見極め国、北海道への要望や補助制度活用を検討していきます。

▸双珠別地区の集落対策の見通しは



小林（こばやし）　潤（じゅん）　議員

1　双珠別地区の集落対策の見通しは

問　双珠別地区は長年農業、酪農地帯としての歴史を歩んできました。

村長は今後の集落対策の見通しについて、どのように考えているのか伺います。



田中村長

農業従事者の高齢化と、後継者不在に伴う離農も進んでいる状況です。この状況を深刻に受け止め農業委員会と連携し離農された方の農地を新規就農者や拡大志向の農業者へのマッチングを積極的に進めています。

農地と住宅、畜舎が一体となった就農環境の整備には至っておりませんが、関係機関と連携しながら、検討を進めます。

再問　新規就農者が育っていなければ、営農できる条件が整っても双珠別に就農する人が来ないと思います。新規就農の取組の考えを伺います。

田中村長

現状の中で新規に就農するということは、なかなか難しいと思っています。今までに新たに就農された方には、設備投資を含めた補助金を出しながら、就農のための支援をしています。

問　今年の執行方針で集落点検の実施について述べられています。双珠別集落の点検内容をどのように総括する考えなのか伺います。

田中村長

方針の見直しから約5年が経過し、集落を取り巻く状況も変化していることから、今年度集落点検を実施することとしています。

現在、双珠別を含む村内全世帯を対象としたアンケートの準備を進めています。アンケートの結果を踏まえ集落対策方針に掲げた取組の進捗状況を検証するとともに、現状の課題を整理し村民の皆さんと行政が連携しながら取り組むべき事項を明確にします。その上で、双珠別地区の農業振興や生活環境の維持など実情に合った対応策について検討します。

再問　集落対策方針の取組の一カ所一カ所をチェックするのではなく、全体的な進捗状況を確認し、方針と各地域における現状の課題を整理した点検内容を、新たな集落対策方針の策定に活かすということなのか伺います。

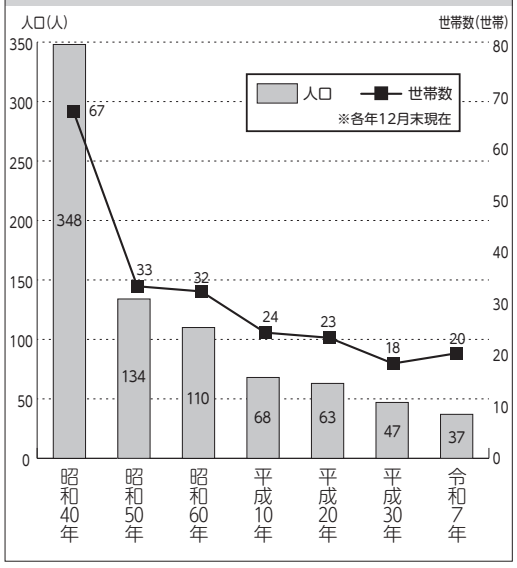
田中村長

これまでの計画というのは、進捗率だとか、達成率だとかにこだわってきた部分もありますが、そういう発想ではなくて現状をどう受け止めて、どうしたらよいか地域と一緒に考えていかなければ駄目なのかと思っています。今あることをどう評価して、それをどう前に進めていくかということを、しっかりやっていきたいと思っています。



牛とともに暮らす双珠別集落

双珠別地区の人口、世帯数の推移（資料：住民課）





藤岡（ふじおか）　幸次（よしつぐ）　議員

▸ホクレンスタンド跡地と農協倉庫の活用方法

▸食料品消費税1％対応

▸外国人防災リーダー

1　ホクレンスタンド跡地と農協倉庫の活用方法

問　令和9年1月末ホクレンスタンド閉鎖計画に対する村長の認識について、閉鎖後のスタンド跡地と倉庫の無償譲渡に向けた行政としての取組策、その後の活用に向けた計画立案組織についての考えを伺います。



田中村長

JA富良野総代会の決定事項と認識しています。スタンド跡地と倉庫の村への寄付無償譲渡については申し入れ協議中となっています。今後の活用については、組織にとらわれず財源措置を含め、各方面の方々の考えを基に計画検討を進めていきます。



閉鎖が決まったホクレンスタンド

2　食料品消費税1％対応

問　2年間の食料品消費税1％問題、村民に与える影響についての村長の認識と国の施策とあわせた村独自の対応策について考えを伺います。

田中村長

現在閣議決定レベルですが、消費税8％から1％へ7ポイント引き下げられる事により、一定の家計負担軽減が期待される一方で、地方消費税交付金と、地方交付税を合わせて年間6，000万円程度の影響額となることから代替財源、補填措置の内容を確認しながら対応を進めていきます。また、園芸農家や綿羊農家に影響があると考えます



トマムシープファーム

が、詳細な動きが見通せない段階ですので、今後国および道の動きを注視して対応していきます。

3　外国人防災リーダー

問　防災訓練を終えて村の備えの現状認識について、また、外国籍の村民30％を超える現状を踏まえ、外国人の防災リーダーの確保について考えを伺います。

田中村長

占冠村地域防災計画では、自助・共助・公助の考えを基本に推進していますが、防災訓練を経て従来の取組内容の再確認と災害発生時におけるボランティアセンター設置など、平時からの関係機関との連携強化が重要との思いを強くしました。また、外国人の防災リーダーについては、ともに地域防災を担う役割として、リゾートとの定期協議の場を活用して、意見交換を進め、トマムの自主防災組織内活動においても期待できると思われるので、今後において検討を重ねていきます。



トマム町内会防災訓練の様子

議員の主なうごき

令和8年第3回占冠村議会
定例会（6月19日）以降



上川・留萌管内女性議員研修会（苫前町）【10月1日～2日】

6月 19日　議会広報特別委員会（各委員）
　　小規模多機能型居宅介護施設とま～る火災避難訓練（各議員）
　　21日　第55回北海道消防協会上川地方支部富良野分会消防総合訓練大会（中富良野町－議長）
　　23～24日　上川町村議会議長会役員会（中富良野町－議長）
　　25日　無事故の日旗の波リレー作戦（各議員）
　　29日　総務産業常任委員会村内所管事務調査（各委員）
　　30日　占冠村戦没者追悼式（各議員）
7月　2日　全道町村議会議員研修会（札幌市－全議員）
　　4日　令和8年度村民スポーツレクリエーション大会（議長）
　　6日　富良野沿線市町村議会議長会総会（村内-議長、副議長）
　　13日　夏の交通安全運動街頭啓発活動（各議員）
　　16日　議会広報特別委員会（各委員）
　　23日　議会広報特別委員会（各委員）
　　27日　上富良野駐屯地幹部異動に伴う送別会（上富良野町－議長）
8月　5日　北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会令和8年度定期総会（札幌市－林活議連正副会長）
　　17日　上川教育研修センター組合議会令和8年第2回定例会（旭川市－議長）
　　18日　全道議会広報研修会（札幌市－各委員）
　　25日　令和8年度占冠地区獣魂・鎮魂祭（議長）
　　26日　第3地対艦ミサイル連隊長及び業務隊長着任歓迎会（上富良野町－議長）
　　30日　小野寺五典代議士と上川管内首長・議長要望懇談会（旭川市－議長）
　　31日　議会運営委員会（各委員）
　　全員協議会（全議員）
9月　5日　第57回ふれあい広場（各議員）
　　8日　議会運営委員会（各委員）
　　11日　令和8年度合同金婚式・敬老会（各議員）

【富良野広域連合議会関係】

6月 21日　第55回北海道消防協会上川地方支部富良野分会消防総合訓練大会（中富良野町-広域連合議員）

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター（役場庁舎）3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の予定　**12月定例会 → 12月10日（木）・11日（金）**

※いずれも午前10:00開会
※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

編集後記

今年の夏は、一時的な暑さはあったものの、昨年より過ごしやすいと感じていましたが、新聞で本村の真夏日（最高気温30度以上）の日数が昨年を大きく下回ったと知り、合点がいきました。一方、今夏は千葉や北陸、道内で台風や線状降水帯による記録的な豪雨が相次ぎました。その背景には、温室効果ガスによる温暖化に伴う海面水温の上昇があると言われています。

本村は令和4年6月に「ゼロカーボンシティ占冠」を宣言し、2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しています。一人ひとりのエネルギー消費削減などの取り組みは、短期間では成果が限られますが、継続することが脱炭素社会への一歩となるはずです。

山々もわずかに色づき始めました。今年は目に焼き付くほどの錦秋となることを期待し、秋の風情を味わいながら、余裕をもって冬を迎えたいものです。（小林）

▼議会広報特別委員会（後期）

委員長　藤岡幸次
副委員長　小林潤
委員　小尾雅彦
委員　大谷元江

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

発行：占冠村議会　編集：議会広報特別委員会
〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央　TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184
URL　https://www.vill.shimukappu.lg.jp

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。